陣内俊　Prayer Letter

Designed by CORKSCREW DESING WORKS /2008/All Rights Reserved

2025 年 7-9 月号
Vol.70

支援者の皆様へ

支援者の皆様、いつもお祈りと尊いご支援を心より感謝いたします。

皆様のお祈りに支えられ、私たち家族は酷暑のなかでも大病することなく過ごすことができました（後述のように俊は 8 月に北海道に避暑しました）。夏休み中、子どもたちは千葉での「小学生キャンプ」と奥多摩での「ファミリーキャンプ」という二つのクリスチャンのキャンプに参加し、主イエスの愛と神の家族の交わりの恵みに与ることができました。

今年は家族にひとつ変化があり、10 月中旬に引っ越しをすることになりました。2023 年 2 月に義父が天に帰郷してから、かねてより義母と同居するために「徒歩 3 分の引っ越し」を計画していましたが、ようやく 10 月に目処がついたかたちです。長女の小学校の学区も変わらないので比較的「楽」ではあるのですが、それでも様々な手続きや荷造りなど、引っ越しは多大な労力や手間がかかります。一方、転居は知らないうちに溜まっていた無駄なモノを手放すなど、生活のスリム化や見直しにもつながります。4 年間の思い出と愛着のある今の家を去る寂しさと、世帯は別ですが義母という「同居」家族が増える新しい生活へ期待が併存しています。この世では寄留者であることを覚え、次の生活や人生のステージに期待しつつ目下、引っ越し準備中です。この引っ越しの背後にも必ずある「神のご計画」を私たちが知ることができるよう、お祈りに覚えていただけましたら幸いです。

北海道での避暑と体調　再会と出会い

2017 年～2022 年の 6 年間、毎年のように 8 月後半に鬱の再発を繰り返したことで「猛暑による季節性の鬱」を疑い、心療内科の医師とも相談して「医療的避暑」を試すようになったのは 3 年前です。3 年目となった今年は前半を川湯ビレッジ・道東クリスチャンセンター（弟子屈町）で、後半を札幌市の友人宅で過ごし、帰路には東北で 2 人の友人に会いに行きました。

7 月 30 日に羽田から女満別空港に降り立った瞬間、「長い悪夢から醒めたような」感覚がありました。連日 35 度超えの 7 月の東京の猛暑のなかでどんどん「脳が煮えていく」ような感覚があり、人と話していても水中で会話しているような朦朧とした状態になっていた脳が、道東の「最高気温 26 度／最低気温 18 度」の世界に移ると正気を取り戻し、生き返ったと感じました。温室効果ガスによる気候変動と異常気象の影響で北海道の人も「近年は異常に暑い」と口々に仰いますが、それでも東京から 10 度ちかく気温が下がることの身体への影響は大きく、「ボロボロになった自律神経が日に日に整う」という道東での 2 週間でした。夜になると漆黒の闇が訪れ街灯もない川湯では毎日 8 時台に寝、5 時前に置きて長い散歩をし、静けさのなかで神に祈り、神の声を聴くという「黙想とリトリート」の時間を持つことができました。今までの自分の歩みを振り返り、これから神が導こうとしている未来について思いを馳せる「静まりの時間」を持てたことは大きな神からの贈り物でした。

後半の札幌滞在では打って変わって毎日のように人とお会いする日々でした。「1 年ぶりに会う知人や友人や支援者」の方々が多かったですが、初めてお会いする方や初めてじっくりと話す方との「出会い」もありました。多くの方が私の YouTube や Podcast を長らく聞いていてくださり、「放送やメルマガに本当に助けられてきた」と仰ってくださいました。この 6 年間、ほぼ毎日放送を続けていますが、リスナーや読者に直接お会いする機会は思いのほか少ないので、大きな励ましをいただきました。私の小さな活動が何かしら人の生活や人生に良い影響を与えているとしたらそれは私ではなく神からの恵みです。このようなリスナーや支援者の皆様の祈りに支えられて活動を続けてこられたことを改めて感謝しました。

祈りながら毎朝散歩した道東・川湯ビレッジ近くから見える硫黄山

高森キリスト教会主催の「地域に仕えるキリスト者養成コース」

4 月に訪問した熊本県阿蘇郡の高森キリスト教会で『もしイエス様が市長だったら』をテキストに学び会をしてくださっていることをお伝えしましたがその後、菅原亮牧師からご相談いただき、「地域に仕えるキリスト教会地域に仕えるキリスト者養成コース【初級編】」を 9 月～11 月の 3 か月で開催することが決まりました。高森キリスト教会から 6 名に加え熊本県内の 2 教会から 3 名の合計 9 名が申し込んでくださり、「愛の訓練／愛の種まきプロジェクト」に取り組んでいくことになりました。

月に 1 度の Zoom でのミーティングと LINE グループでの愛の行動の報告や励まし合いを通して、個人的な隣人愛の実践と、教会やグループ単位の社会奉仕を実践的に学ぶことができるコースです。参加者の職業も年齢も様々で、住んでいる場所も 3 地域にまたがっているので、どのような実践や計画が飛び

出すか、またどのような「愛の実践を励まし合うコミュニティ」が生まれるかワクワクしています。これまで様々なかたちで教会や個人の愛の実践のサポートをしてきましたが、このようなかたちでの「養成コース」は初めての試みです。日本の教会が「教会といえば隣人を愛する人々の集まり」として知られ、誰かが困ったとき「何か困ったら教会に行くといいよ」と言われるような未来を夢見て、地域教会にご助力できる機会は喜びであり特権です。

本の執筆と６月のボブ・モフィット師との対話

諸般の事情でまだ詳細をお伝えできませんが（出版自体も 100%確定ではないため）、現在、共著本の執筆に取り組んでいます。私の章の内容は獣医師として性的マイノリティについての科学的・生物学的な事実をお伝えし、教会は当然性的マイノリティを受け入れるだけでなく、同性婚の祝福や当事者が教職者になることを含め全面的に尊厳と人権が守られるべきだと考えることこそ、聖書の教えるイエスさま的・福音的な人間理解だと私が確信するようになった経緯について書いています。

獣医学科の発生学の授業で「哺乳類の性分化」を学び、動物界にも性的マイノリティが存在することを知っていたこと、鬱病を罹患し「健康なマジョリティに最適化された社会の暴力性」に気付いたこと、「声なき者」の友の輪という名前をいただいていたことなど、神の摂理とご計画の中で私が「福音的 LGBT アライ」へと導かれたことを再確認する執筆作業でした。助言やフィードバック、校正作業などを通して多くの方々の助力で作り上げた原稿ですので、もはや自分だけの文章とは思えません。出版された暁には改めてご報告しますが、この原稿が予定通り出版され、多くの人に読まれ、性的マイノリティに関する正しい知識が普及し、日本のキリスト教会のなかにある「無知ゆえの差別」がなくなる一助となるようお祈りくださいましたら幸いです。

まだ出版されていない原稿ですが、実はすでに神さまに用いていただいています。6 月にテキサスに住む妻の兄家族に会いにアメリカに行ったとき、帰路でボブ・モフィット師と 9 年ぶりの再会を果たしました。モフィット師は『もしイエス様が市長だったら』の著者で 20 年来の私の人生のメンターですが、ジェンダーについては保守的見解であることを知ってましたから、私が性的マイノリティの方々と共に歩む召しを受けたことで「君には失望した」と言われる恐怖で渡航前は眠れぬ夜を過ごしました。そこで私はこの原稿を知人の翻訳家に頼んで英訳していただき、事前に読んでいただき、緊張しながら感想を聞きました。

6 月 24 日・サンディエゴにてモフィット師と

モフィット師はこう言いました。**「ジェンダーについて私の立場は君とは違うが、君が人生をかけてイエス様に従っていて、声なき者の友となろうとしていることがよく分かった。加えてこの原稿は特に科学的な知識の部分がとても勉強になったので、友人たちにもシェアしたい。君に失望するどころか、今まで以上に君のことを尊敬するようになったよ」。**

「同性愛を受容することは聖書に反する」と今も考えているキリスト者もいますので、まだまだ厳しい道は続くと思いますが、当事者や同じアライの仲間と手を携えて進む上で、恩師からのこの言葉を今後も私の心を温める宝物として人生の終わりまで大切に胸に抱きしめていきたいと思います。

祈りの課題

◇純子・かなえ・ななみ・俊の体調が守られ、感染症、事故などからも守られるように。
◇10 月の引っ越しが家族や義母や地域にとって神の願われる良い変化となるように。
◇FVI「声なき者の友」の輪の財政が 2024 年会計年度、かつてなく非常に厳しい状況でした。今後も神のお働きに参画させていただくことが御心ならば、財政状況が改善し活動が継続されるように。
◇「地域に仕えるキリスト者養成コース」など、少人数制のオンライン講座をいくつか企画しています。主がそのような企画を通して参加者の内側にキリストの似姿をつくってくださるように。

2025 年 10 月以降の主な活動予定

月　日	内　容	場所、補足
9 月～11 月	地域に仕えるキリスト者養成コース	オンライン（熊本と東京で）
9 月 28 日	礼拝説教／午後のワークショップ奉仕	南浦和バプテスト教会
10 月 27 日	FVI 総会	武蔵野福音自由教会
10 月 29 日	「動物国際事情」講義	帝京科学大学
11 月 12～14 日	キャプテンズテーブル（FVI 執行役員会）	奥多摩福音の家
11 月 23 日	礼拝説教奉仕	幡ヶ谷バプテスト教会
随時継続的に	教会を建て上げる情報発信／訓練／啓発（エペソ 4：12）	国内各地／オンライン

＊上記は現在までで分かっている暫定的な範囲の予定です。

連絡先（奉仕・各種仕事のご依頼もこちらへ）

陣内への Email　shun@karashi.net　　**無料メルマガ、YouTube 放送、Podcast、ブログなど→「陣内俊」で検索**

ご支援のための献金方法

私の活動は、支援者の皆様の善意の支援献金によって支えられています。経済的支援をもってご協力くださる方は、お手数ですが以下のいずれかの方法で口座にお振込ください。ご支援を心より感謝いたします。

■ゆうちょ銀行口座番号　12110-91889141 名義：「陣内俊を支える会」
■他行からの振込　店名（店番）：〇八九（ゼロハチキュウ）（089）預金種目：当座
口座番号：0142825　「陣内俊を支える会」
■郵貯振替口座番号　00830-1-142825　名義：「陣内俊を支える会」
（同封の振込用紙がご利用いただけます。）

＊**振込用紙をご入り用の方、ゆうちょ口座からの自動引き落としを利用されたい方**はお知らせください。
＊振込用紙（赤色・手数料当方負担）を同封いたしますが、**振込用紙は決してご支援を催促するものではありません。**お振込くださるときにご利用ください。（毎月ご利用の方のために複数枚同封しています。）
＊**Prayer Letter の購読、自動引き落としを停止されたい方、またはお届け先の住所に変更がある方**は、お手数ですが、上記連絡先のいずれかにご連絡ください。